

羽島市立足近小学校で防災講座を行いました

令和6年10月22日（火）、羽島市立足近小学校で4年生40名に防災講座を行いました。令和5年に創立150年を迎えた歴史のある学校で、近くには境川が流れています。

講座では、伊勢湾台風や羽島市で被害のあった三六災害・昭和51年9.12豪雨災害など過去に発生した水害や、実験を通して高潮・堤防決壊のメカニズムについて学習しました。伊勢湾台風は風による被害も大きかったとお話しした際には、「風でこんなにも大きな被害になるんだ」と驚いていました。

また、「歩行可能な浸水深は？」とのO×クイズで、子供は約20cmで歩けなくなると知った児童から「プールでは歩けるののですか？」との質問があり、溢れた水は汚れていて下が見えないうえに流れがあると説明をしたところ、多くの児童が「なるほど！」と理解をし、浸水の恐ろしさを感じて頂けた様でした。

講座の最後には、「線状降水帯がこんなにたくさん発生していることに驚きました。また、浸水疑似体験映像を見て、早めに避難することが大切だと分かりました。」との感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

